

心からのご寄付を ありがとうございました

8月21日～9月20日

山崎久江	現金5,000円
高島嘉光	現金2,550円
尾越あけみ・藤井聖子	現金1,500円
稲次康三	現金3,000円
阿原一良	現金10,000円
岩村進次事務所	現金618,800円
安藤功	現金10,000円
飯田晃	現金5,000円
菊池清香	切手2,190円
(有) 渡辺材木店	現金2,102円

◆佐藤さち子患者支援基金
(株) ナス・プロモーション

井上真一	現金15,110円
青木英子	現金3,000円
	現金50,000円

◆あやちゃん基金

井上真一	現金3,000円
青木英子	現金50,000円 (敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 566655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会

去る九月二十日、台湾骨髄バンクからの骨髄提供による日本人患者への第一号の骨髄移植が実施されました。

骨髄移植を行った患者さんは四十二才の日本人女性で、慢性骨髄性白血病です。この患者さんは日本の骨髄バンクにも登録していませんが、HLA適合ドナーがいなかったため、世界各国の骨髄バンクに対してドナー検索を依頼していましたが、台湾骨髄バンクに唯一人の適合ドナーが見つかり、このほど移植の実現となりました。

骨髄採取は台湾の病院で行われ、日本から出向いた医師がその日のうちに空路東京に骨髄を持ち帰り、東京白金の東京大学医科学研究所付属病院で患者さんへ静注され、とどこおりになく移植が行われました。

台湾の骨髄バンクは発足から三年です。十二万人以上のドナー登録があることは、今年八月に東京で開かれた国際フォーラム「骨髄バンクのネットワーク化」(全国協議会主催)でも明らかにされました。大きな発展を見せる台湾骨髄バンクでこの患者さんにドナーが見つかったのも当然のことかも知れませんが、更にアジア諸国の人たちが、いかに高いHLAの近似性を持っているかの証左であると言えます。

今回の個人的レベルでの事例ではなく、組織的なシステムによる骨髄提供が相互に行われることを早急に望みたいものです。

今回の個人的レベルでの事例ではなく、組織的なシステムによる骨髄提供が相互に行われることを早急に望みたいものです。

去る九月二十日、台湾骨髄バンクからの骨髄提供による日本人患者への第一号の骨髄移植が実施されました。

骨髄移植を行った患者さんは四十二才の日本人女性で、慢性骨髄性白血病です。この患者さんは日本の骨髄バンクにも登録していませんが、HLA適合ドナーがいなかったため、世界各国の骨髄バンクに対してドナー検索を依頼していましたが、台湾骨髄バンクに唯一人の適合ドナーが見つかり、このほど移植の実現となりました。

今回の台湾骨髄バンクから日本への骨髄提供はこれが第一号で、歴史的な第一歩となりました。しかし、こうした海外からの骨髄提供は現在のところ、日本ではすべて個人的努力のレベルで行われているものです。

世界の骨髄バンクがネットワークで結ばれ、自国の骨髄バンクに登録すれば世界中のドナー希望者の中からドナーをさがせるよう、国際協力は不可欠の課題です。

日本へはアメリカからの提供を含めこれだけで七例の提供があったことになりましたが、日本から海外へは民間バンクの九州骨髄バンクを含めて三例のみで、患者さんはいずれもが日系人・日本人であると伝えられています。

今回の個人的レベルでの事例ではなく、組織的なシステムによる骨髄提供が相互に行われることを早急に望みたいものです。

台湾からの 骨髄移植第1号 —国際協力の実現を急げ—

去る九月二十日、台湾骨髄バンクからの骨髄提供による日本人患者への第一号の骨髄移植が実施されました。



発行所
全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒130 東京都新宿区
愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者
渡辺 孝一

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 566655

「移植医療体制拡充」 第3回シンポジウム 名古屋で開催

去る九月七日に愛知県ボランテアセンターで、第三回全国骨髄バンク推進連絡協議会シンポジウムが開催されました。

小寺良尚名古屋第一赤十字病院骨髄移植センター長の基調講演では、「非血縁移植は重症GVHDの発症を防げば血縁と同じ成績」だが「DNAタイプピン」を重視するあまり、待ちすぎで病気が悪化してはいけない」と発言。

次に「愛知の会」が行った、遠方から骨髄移植を受けに来られた患者さんを対象としたアンケート調査の報告があり、付き添いの現状があらさまにされた。また愛知県衛生部初山さんから、愛知県内の取り組みや予算七百八十六万円の使い方が報告されました。



第一部「骨髄医療体制の現状と今後の方向性」に移り、小寺先生は「名古屋骨髄移植グループでは定期的な勉強会により、どの病院でもほぼ同レベル、病院間治療成績格差は最小限にすることができる」。森下剛久昭和病院血液腫瘍科部長は「サテライト病院が、自家や血縁移植、PBSCTなどを行う分業体制が効果的」と述べました。小寺先生が「第一日赤では年間六十四例で無菌室の稼働率は約六十%。これ以上はマンパワーの問題で無理。ハードがあっても移植は出来ない」「センター的役割をしている病院には、何らかの形の補助を」と追加発言しました。

第二部の「患者・患者家族長期滞在支援施設に関して」では、愛知県内の主要移植病院では、既に県外の移植患者数が県内を上回っている現状が報告され、名古屋第一赤十字病院骨髄移植センター「婦長川北さんから「狭い居住空間で、長期入院に伴ういらだちや不安や感情をあらさまに出来ない」状況。また患者家族や患者本人から当時の状況が報告され、支援施設の必要性が訴えられました。

最後に、現在白血病を患っている患者から、現在の心境が話されたが、私にとっては、今しかない。」と切実にドナー登録を訴えました。(北折)

ファンもやったぞ! hide全国ツアーで 大きな反響

いよいよ全国ツアーが始まったhide、九月四日横須賀での初日には海部会長も会場を訪れました。八日(日)千葉マリスタジアムでは二万人の観客で大いに盛り上がりました。

開場を待ちきれずに集まった来場者に募金を呼びかけ、心優しいファンが気持ちよく募金に協力してくださりました。あらかじめ知っていて、用意していたファンもいます。募金者にはhideさんデザインの特製バッチをプレゼントしました。このバッチと「hideもやったぞ骨髄バンクに登録しよう」のチラシはファン以外の若い世代にも大きな反響を呼んでいます。これをきっかけにドナー登録の問い合わせやお手紙(別掲)も事務局に届いています。

このツアーとチャリティー活動は十月二十日まで全国各地で行われます。

なお、hideさんがこの活動を始める端緒となった貴志真由子ちゃんは今春移植を受け、順調な経過でこの全国ツアー直前に退院されました。

ドナー登録に興味を持たれたファンの方からのお便り
「チャンス」を送っていただいたおかげで骨髄移植のことがよくわかりました。私は今21才で、体重もよゆうで40kg以上あるので(笑)ドナー登録できます。ちゃんと理解できたので、登録したいと思います。

術後の痛みについては「チャンス」を読んだぶんでは、私は平気だと思います。

お母さんに「登録するよ」って言って、その後「でも入院したら病院のごはん食べてしょ? 一体どういうのが出るのかなあ。まずいよね。やっぱり」とか言ってたら「あ、まだ登録もしてないくせに、なんでもうそこまで考えちゃうわけ?」ってあきれられてしまいました。(笑)

だってえ、入院なんてした事ないもん。気になりません? ふつう〜。

東京都大田区・鎌田綾子
p.s. もうすぐ5年ぶりにX-Japanのニューアルバムが出ます。絶対、聴いてください。



骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

●7・8月のドナー登録者1,000名を超過
公共広告機構(AC)キャンペーンの開始と、骨髄バンク関連のテレビ放映、新聞掲載が続いた事に伴い、電話問い合わせ件数が大幅に増加。ドナー登録者も7月、8月共に1,000名を超え、ようやく増加基調を示しています。

●ミュージカル公演などについて
3年前より開始された骨髄移植推進キャンペーン・ミュージカル「明日への扉」(主催:学校法人/滋慶学園 公演:厚生省、骨髄移植推進財団)は、本年度7月、9月で計5回公演され、毎年新たな筋立てとダンス等が取り入れられており新たな感動を呼び起こしています。また、9/10の公演では9年前に骨髄移植を受けその後2年半前に出産された元患者さんが登壇し、ご自身の体験を話されると共に骨髄バンクへの協力を呼びかけ大きな感動を呼びました。

●街頭キャンペーンの実施について
10月12日(土)11:00~20:00「新宿アルタ1Fデートプラザ」にてミュージシャンの方々のボランティア出演による骨髄バンク街頭キャンペーンを骨髄移植推進財団主催で実施します。当日は東京新都心ライオンズクラブの全面的なご支援により行われるもので、財団事務局員、普及広報委員、地区普及広報委員等が参加します。

【8月末現在検査済ドナー登録者】	75,142人
【8月末現在患者登録者】	4,389人
【8月末現在移植件数】	899件

★骨髄バンクへのお問い合わせは★
フリーダイヤル0120-377-465

**ドカベンテレカ
できました。**
各地のイベント等に活用してください。
申込みは事務局まで。



◆台湾・韓国との国際ネットワーク化について、全国協議会が果たすべき役割を今後検討。

◆大蔵省へ要望書提出の件
厚生省が概算要求の中に入れたドナー登録の一次・二次検査同時実施のための予算の実現を求め、要望書を提出する。

◆ボランティア休暇の実現に向けて
人事院が来年実施しようとしているボランティア休暇に、骨髄バンクボランティアも含めるよう要望する。

◆NMDP年次総会に取材派遣
9月10日(土)〜12日(月)に開催されるNMDP総会と全米骨髄バンクの取材に遠藤允氏を派遣。

◆報告事項
会費未納団体は、早目に納入願います。

◆ライオンズ日本財団第四回総会
hide氏のソロコンサートの協力受入窓口になっている財団総会が九月五日に開かれ、陽田委員長と野村副委員長が出席。

◆白血病フリーダイヤル受付状況
9月13日からスタートし、八月末までの相談件数は百二十三件。患者本人からの相談が多く、内容は治癒方法やその確率について。現在十六名が相談員に。

**第53回
運営委員会
報告**

第五十三回運営委員会は、九月十六日、全国協議会事務局で開かれました。主な内容を報告します。

今年も 読売文化人ゴルフ 北陸チャリティー大会 開催

読売新聞北陸支社の主催で行われたこのチャリティーゴルフも今年で三回目となり、会場となった石川県のゴルフクラブツインフィールズには地元企業や石川・富山両県の名士の方々、さらには多彩な顔ぶれの文化人の参加を得て総勢百十六名により九月十四日に、前夜の大雨を吹き飛ばして快晴の中で開催されました。前夜祭のパーティーには富山県骨髄バンクを広める会からも参加を得て親睦を深める事ができました。

名人より提供された品が直接その先生の説明を受けての競売になり、かなりの高値で落とされるものが後を絶たず、異様な盛り上がりでした。

さて気になるゴルフの成績ですが、海部会長は「お見事」ゴールドコースでのブービーでした。怒られるから明らかにしないことにします。まあともあれ地元新聞にも大きく掲載され、多くの著名人にも骨髄バンクを知っていただき、さらにチャリティーと、文字どおり骨髄バンク一色の企画でした。読売新聞北陸支社の皆様にご心より御礼申し上げます。

“患者家族電話相談”
白血病フリーダイヤル
バンクに トウロク
0120-892-106
毎週土曜日10時～16時

第5回 サンクト・フローリアン・ ピアノ三重奏団 チャリティーコンサート 公演予定

11/15(金)会津若松市文化福祉センター
16(土)浦和バプテスト教会
17(日)千葉県薬台高校文化ホール
18(月)大井町きゅりあん

★サンクト・フローリアン・トリオはオーストラリアのザルツブルグを拠点に全世界で演奏活動を行っています。



ゴルフを終えてのオークション会場には骨髄バンク関連のパネルが掲示され、雰囲気は骨髄バンクレセプション。
オークションは参加された著名人より提供された品が直接その先生の説明を受けての競売になり、かなりの高値で落とされるものが後を絶たず、異様な盛り上がりでした。

各地の たより

沖繩 ビーチパーティー 研修会

九州骨髄バンク推進連絡会、沖縄支部の一泊研修会を、恩納村のペンションで行い、子供十一人を含め二十七人が参加しました。

沖繩ではビーチパーティーが盛んに行われ、一晩中飲んで食べて過ごす習慣があります。沖縄支部のメンバーも、ビール片手にパーベキューを食べ大いに語り、子供達も恒例の花火大会等を楽しみました。

東京 恒例合宿 エンドレス討論会

九月七日、八日、宿泊研修会・夏合宿を群馬県・猿ヶ京温泉にて開催しました。参加者は、元患者の方二名を含む男女合わせて十九名で、五台の車に分乗して関越道を快適ドライブ。ホテルに到着後、恒例の「おくり」を行い、会報を発送しました。学習会第一部では、東京の歴史について発足時からのメンバーより、当時の苦労話を交えて語ってもらいました。露天風呂付の温泉で疲れを癒した後、夕食宴会、ビンゴ大会と続き、部屋に戻ってのエンドレス大討論会。話し疲れて窓から夜空を見上げると、満天の星空がとても印象的でした。

各地のたよりを 写真を添えて お寄せください。

の招待となりフォーラムへも参加できたわけですが、座談会の内容は情報誌「骨髄バンク」第三号に載る予定です。
また、去年の夏に骨髄バンクを通して移植をした糸数美智子さんは六月から定例会に毎回参加しており、回を追うごとに元氣になっていく様子に骨髄バンク運動の意義を感じ、胸がいっぱいになります。
ところで、前回の事務局長イビキ事件の教訓として、彼には自己負担で別棟を借りてもらいました。(M上江州)

千葉 野田市で初シンポ

七月十四日に野田市と共催で「骨髄バンクを知る市民の集い in野田」を開催しました。当日は野田市長のご挨拶の後、「骨髄バンク」ののちのポラントニアが上映され、続いてパネルディスカッションが行われました。今回は座長の太谷貴子さん、千葉県こども病院の沖本由理先生、コーディネーターの松村雅子さんなどパネラー五人全員が女性という華やかな顔触れとなり、なごやかな雰囲気の中で骨髄移植の実情や骨髄バンクを取り巻く状況などが討論されました。そして、質疑応答のコーナーでは会場から活発な質問があり、参加者の骨髄バンクへの関心の高さが実感されて、実りのあるシンポジウムになったと思います。ところで、今回の開催に当たっては市内の多くの方から協賛金をいただき、予定を上回る収益が生じました。そこで、その一部であやちゃんの画集や金色のクジラの絵本とビデオを購入し、市内の小学校や図書館へ寄贈することになり、九月十八日に野田市教育委員会においてその贈呈式が行われました。(田中)

埼玉 「生きる」 渡哲也さんと

九月十四日、川越の総合体育館で「生きる」というイベントがありました。これは毎日新聞が渡哲也さんをメインに繰り広げている小児がん撲滅キャンペーンです。

小牧 事務所移転の お知らせ

全国ポラントニア大会を機に、私たちと一緒にポラントニア活動をしていただけた仲間も増え、今後より一層充実した会にする為、事務所を移転致しました。今までは小牧中央高等学校の事務所を窓口としておりましたが、今後は同じ敷地内に別室を借り受け活動して行きます。住所は同じですが、電話・FAX番号が変わります。これまでは学校事務室の電話を借り、受け継ぎもして頂いていましたが、今後は常駐者のいない(各自の空き時間に事務所に来て、事務処理等を行う為)事務所専用電話になり、不在などで多少不便をお掛けすると思いますが、何卒ご了承ください。(山口)

Dr.サイくん 作. 夢野 夢野 (サイくんの夢)

おはようサイくんは夢野を見た
「一度は僕に心臓のオペをやらせてほしい」
「はい、先生」
「はい、先生」
「はい、先生」
「はい、先生」



翌日の学習会第二部では、前夜の討論会のリターンマッチと、新しく製作するTシャツのデザインについてワイガヤを行いました。今回の合宿では、仲間と共によく飲み、よく語り、

折衝をし、前日には、東京の会がチラシ入れに川越の会場まで。そして当日は、埼玉連絡会が受け持つことになりました。
当日、あいにくの雨にもかかわらず、埼玉からは九人、東京から二人のメンバーが参加。骨髄バンクは、下足と傘を入れるビニール袋を入り口で、一人一人に手渡すことが仕事でした。五時開場だったので、吹き降りなので三時半開場となりました。六時半頃まで、参加者三千八百人全てに袋を渡しながら声をかけ、時には傘までたんと袋に入れてさしあげたり、サービスマン満点でした。ただ残念だったのは、こんな親切なボランティアが骨髄バンクだということ。それをアピールするためのジャンパーを着るとか、バッジを作るとかすればよかった、と思います。

神田正輝さんが司会で、毎日新聞社会部長の小児がんの患児や家族が抱えている問題など、左右の画面にスライドで要点を映しながらの挨拶、渡哲也、館ひろし、坂本冬美の歌とトーク、とてもホットなイベントでした。また、この様なイベントを他の地域でもやっていきたいという事でした。
他のポラントニアとの交流があったり、石原軍団の豚汁をごちそうになったり、帰りにはポラントニアにも冷凍の新巻鮭を一本ずついただいたり、付録つきポラントニアでした。(近藤博子)

フジテレビ
見ても見ぬふじは
かみかみちゃん

幸平、ナイスシュート!
5年組の幸平はサッカー大好きな元気者。ある日、突然、白血病で入院します。助かるには骨髄移植をしなければなりません。「白血病ってなに?」「骨髄移植ってなんだ?」それを知ったクラスメート、チームメート、そしてお姉ちゃんの中学校合唱部員たちの「幸平を救え!」大作戦がはじまります。

訓練員 敏博「作」
高橋真知子「解説」
タカダカサヤ「絵」

全国骨髄バンク推進連絡協議会
大谷 貴子
金色のクジラ 作者
岸川 悦子

千代田区九段北 あけび書房 電話03(3234) 1-9-5-1208 2571(代表)

増え、今後より一層充実した会にする為、事務所を移転致しました。今までは小牧中央高等学校の事務所を窓口としておりましたが、今後は同じ敷地内に別室を借り受け活動して行きます。住所は同じですが、電話・FAX番号が変わります。これまでは学校事務室の電話を借り、受け継ぎもして頂いていましたが、今後は常駐者のいない(各自の空き時間に事務所に来て、事務処理等を行う為)事務所専用電話になり、不在などで多少不便をお掛けすると思いますが、何卒ご了承ください。(山口)

電話番号 (FAX兼用) は次の通りです。
0144757661